

# 健康アドバイス



田中 文雄 医師  
(吉備医師会から)

春が近づくと、くしゃみや鼻水、鼻詰まりの季節がまた来るな、と憂鬱になる人もいらっしゃるのではないのでしょうか。

1月下旬から花粉症の原因となる植物が開花の時期を迎え、大気中にさまざまな花粉が浮遊します。同時に、中国大陸内陸部からの黄砂が偏西風に乗って日本まで飛来し、大気中に浮遊したり降下したりする季節でもあ

## 今月のテーマ 花粉症対策

### マスクを上手に使いましょう

ります。近年、黄砂の量も増え、1平方キロ当たり年間数トンに及びます。

岡山県は植林事業により、スギよりもヒノキが多い地域です。また、総社地域は田園地帯が多く、イネ科植物が多い地域でもあります。ヒノキ花粉、イネ科花粉ともに3月下旬から一斉に飛散が始まり、ヒノキ花粉は5月中旬まで、イネ科花粉は梅雨時まで大量に飛散します。ここに黄砂飛来が重なり、症状が一気に悪化してしまいます。

花粉症の対策には、アレルギーを起こす花粉などを吸い込ま

ないことが大切です。外出時にはマスクの使用が推奨されます。最も大切なのはマスクの選択です。目の細かい風邪用のマスクは息苦しいため、つい外してしまいがちです。また、脇から花粉が入りやすく、吸い込む機会が増えてしまいます。

花粉用マスクを購入する際は、安価なもので構いません。楽に息が吸い込めることと、周囲から花粉が入りにくい製品を選択することをお勧めします。



問い合わせ 健康医療課健康増進係 (☎92-8259)

# 安全・安心 のすすめ

厳寒期であるこの時期は、県南部でも気象条件や場所により、降雪や路面の凍結が見られます。

雪道や凍結した路面は非常に滑りやすく、ちょっとしたブレーキでも車のコントロールを失い、交通事故につながる危険があります。

冬期の道路での正しい運転知識や技術を身に付け、安全運転に努めましょう。

～冬期の交通安全のポイント～

## 厳寒期の交通事故防止

■冬用タイヤやタイヤチェーンをいつでも使えるように準備しておきましょう

■凍結や降雪が予想される日には、時間に余裕をもって早めに出発し、安全な経路を選んで走行しましょう

■運転する前には、フロントガラスなどの霜や積雪を確実に取り除き、視界を確保してから出発しましょう

■路面の状態を常にチェックして、凍結しやすい日陰や橋の上、

スリップしやすいカーブや下り坂などでは手前で十分に減速しましょう

■路面がキラキラ光っているときは、凍結のサインです。このような場合は、車間距離を十分保つとともに、速度を控え、「急ブレーキ」「急ハンドル」「急加速」をしないよう、常に危険を予測しながら運転しましょう

■積雪のある道路では十分減速し、できる限り、わだち(車の通ったタイヤの跡)に沿って走りましょう

■日没が早く、見通しが悪くなることから、早めのライト点灯を心掛けましょう

監修・問い合わせ 総社警察署 (☎94-0110)



## 協定

### 和泉市と災害時の相互応援協定

問い合わせ 危機管理室 (☎8599)

### 西日本電信電話(株)岡山支店とも協定締結

12月22日に、総社市と大府和泉市は、和泉市内で「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

協定内容は、大規模災害時における人員派遣、食料・飲料水などの供給や必要な

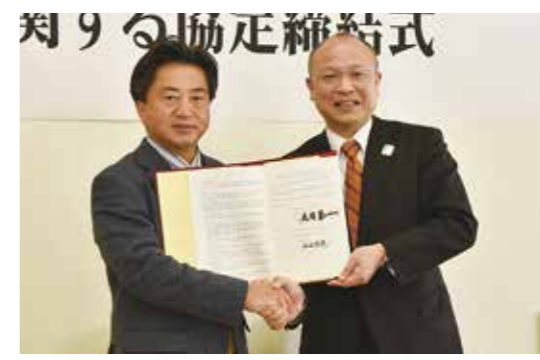
資機材の提供、被災者の一時収容のための施設提供などを実施する相互応援です。

また、12月18日には西日本電信電話株式会社岡山支店と、総社市役所で「特設公衆電話の設置・利用・管理等に関する協定」を締結しました。



協定書を手にする辻和泉市長と片岡市長

協定は、大規模災害が発生した際、被災者の通信手段を確保するものです。市の基幹となる避難所(市内全小中学校と高校)へ通信回線を設置し、災害時に電話機を接続することで、即座に特設公衆電話が利用できるようになります。



協定書を手にする片岡市長と西谷支店長

これで総社市が締結している防災協定は、62協定101団体(1月15日現在)となり、大規模災害に対する備えが各分野で進んでいます。今後も市民の生命と財産を守るため、県内外の地方自治体や民間各種団体と、有効な協力体制を築いていきます。

## 議会フォーラム 2/4日 13:30~16:00 総合福祉センター

「なぜ議会は関心を持たれないのか」をテーマに、龍谷大学政策学部教授の土山希美枝さんの講演、議員による議会や委員会活動報告、市民との意見交換を行います。

問い合わせ 議会事務局 (☎8332)

## 11月定例会市議会で20案件を議決

11月定例会市議会が、11月30日から12月21日まで22日間の会期で開催され、条例の制定や一部改正、平成29年度補正予算など20議案を審議。全て原案どおり可決されました。

可決された条例は、総社市災害救助支援条例や総社市災害救助支援基金条例の制定など。

また、一般会計補正予算は、災害救助支援基金積立金1億8066万円をはじめとする3億9210万円の増額となっています。

問い合わせ 総務課行政係 (☎8218)

## A型事業所の事業縮小を受け 緊急相談窓口を設置

市内で運営されている障がい者就労継続支援A型事業所が2月末をもって廃止されるとの情報を受け、1月11日に緊急相談窓口を障がい者千五百人雇用センター内に設置しました。

障がい者千五百人雇用事業との連携により、解雇者が出た場合でも約40人分の雇用先を確保しています。これからも障がい者の雇用維持に全力を尽くしていきます。

問い合わせ 福祉課障がい福祉係 (☎8269)

緊急相談  
窓口  
☎8379

